君津中地区社会福祉協議会だより 第58号　　令和元年11月21日(木)

ふれあいと
支えあい
豊かな地域社会

# 中の里通信

題字は故斎藤翠谷先生

発　行
君津中地区社会福祉協議会
編　集
同上広報事業部会
連絡先
君津市保健福祉センター
TEL　57-2250
FAX　54-2941

# “思いやり”育む福祉体験

6月28日　南子安小学校にて　5年生115名が参加
10月15日　貞元小学校にて　4年生53名とその保護者が参加

## 福祉体験学習への協力

上記2小学校で福祉体験学習が行われました。

車いすとアイマスクによる、障がいのある方々の立場また介添する立場の体験です。視覚障がいの方の日々の生活などのお話を伺った後、南子安小学校では児童同士が二人一組で、貞元小学校では保護者と児童が一組となり車いすとアイマスクを交互に体験しました。

車いすは、介護ボランティア「あゆみサークル」と「コスモス」の皆さんの指導で操作方法を学んだ後、車いすに乗って障がい者の不便さや介添えなど助けが必要なことを学習。次に車いすを押す立場も体験。車いすを押してみると意外と障害物が多く思ったように進めない苦労も、また、歩道を進むとき声を出して歩行者に協力を求め、道を譲ってもらうことも体験しました。

ボランティアサークル「for-U」の皆さんの指導による視覚障がい者の体験では、一人がアイマスクを着け、もう一人が介添人として、細い道の歩き方や階段の上り下りなどを体験しました。

介添人は先導する立場です。道が混んでいるとか段差があるなどあらゆる情報を言葉で伝える大切さを学びました。

アイマスク体験で椅子に座る
「ここに椅子があります。」と声掛けし、手で触らせ、座ってもらう（貞元小学校）

アイマスクを着けた児童は視覚障がい者の不便さや恐怖を体験しました。

1時間半ほどの時間ですが、小学生の時にこのような学習をすることは非常に有意義で、子どもたちの思いやりの心・相手の立場や気持ちを理解しようとする心が培われた時間だったと思います。（中地区社会福祉協議会は2校合わせて21名が参加協力しました。）

視覚障がい者の池田 守さんによるお話
（南子安小学校）
日常生活の中で不便なことは？
真剣に耳を傾ける子どもたち

視覚障がい者の粕谷文枝さんによるお話
（貞元小学校）
保護者の皆さんと話に聞き入る子どもたち
この後、点字やユニバーサルデザインも学習

前方に座っている人あり、「すみません、車いす通していただけますか？」
（南子安小学校）

## 車いす・アイマスク等の福祉体験学習に参加した子どもたちの感想（貞元小学校4年生）

車いすで細い道を歩く練習
障害物あり

10月15日（火）は、親子活動に参加してくれたり車いすやアイマスク体験をさせてくれたりと、ボランティアをしてくれてありがとうございました。

車いすにのっている人や目がふじゆうな人みたいにたいけんさせていただき、ふじゆうな人を助けてあげようとあらためてまなべました。

10月15日（火）は、目のしょうがいの体験をさせていただきありがとうございました。目にアイマスクをつけたときは、どこに何があったかわかりませんでした。

かいだんなどは、前がみえなくてこわかったです。

車いすの方でも、そうじゅうがへたくそで「めいわくをかけてしまう。」と思いました。

しょうがいをもった人の気持ちがよくわかりました。これから目や足を大切にします。

アイマスク体験で階段を降りる
一歩一歩しっかりエスコート
お母さんとの体験、お家で話題になるかな？

## 君津特別支援学校との交流会の感想（南子安小学校5年生）

南子安小学校の5年生は、車いす・アイマスク等の福祉体験学習以外に北子安にある君津特別支援学校との交流会を毎年行っています。リハーサルを行うなど事前準備をしっかり行い、本番に臨んでいます。その感想を寄せていただきました。

リハーサルでは、きんちょうしてうまくできなかったけれど、本番の時、君特の子たちがたのしくあそんでくれたり、笑ってくれたりしたのですごいホッとしました。がんばってやってきたせいかがあったなと思いました。とてもうれしかったし、なにより元気がでました。またあそびたいなと思いました。

おとなしい子だったので自分から話しかけるようにして、ペアの子が楽しかったと思ってもらえるように、くわしくせつめいしたり、「ここからなげるんだよ。」とか、しっかり言えたと思います。やはり最初は静かだったけど、最後のおわかれのときに手をふってくれてとってもうれしかったです。そして、準備をするときも、これなら私のペアもだいじょうぶだなとせきにんをもってペアのことを考えられたと思います。また、このようなきかいを楽しみにしています。

「もっと遊びたい。」と思いました。最初は本当にびくびくするし、少し怖かったけど、このきかいに障がいをもった人たちも一緒にできることをみつけるのもだいじだと、この交流で気づきました。

手を取り合い 共にしあわせに

# 楽しく子育てを ～私たちが応援します～

## 子育てサロン

毎月第2水曜日・10:00～12:00

子育てサロンは、0歳児から就学前の子どもを対象に開催しています。春にはひな祭り、夏は七夕会、秋はハロウィン、冬はクリスマス会と季節の行事を取り入れ、参加者に楽しんでいただけるよう工夫しています。

また、君津わらべ歌研究会の角野のぶ子氏によるわらべ歌・手遊び・絵本の読み聞かせも行っており、折り紙講師による指導で今年はおひな様や七夕飾りをつくり、自宅に飾りました。

今年度より、ホッと一息の時間を過ごす『ママタイム』も開催しています。専門講師・支援員と子育て中の悩み・食事・病気・保育園幼稚園選びなどをワイワイとお茶をいただきながら話す時間です。

年1回君津市の健康づくり課による子どもの栄養や歯の健康講座も開催し、少しでも楽しく子育てができるように応援しています。

サロンには、遊具も本もあります。

皆さん!!いちど遊びにいらっしゃいませんか?

ハロウィン…飾りきれいにできました

わらべ歌…伝統文化、子どもも夢中に!!

健康講座…口腔ケアの方法、歯は大切!!

# 防災体験学習施設「そなエリア東京」等を見学

## 役員研修

１０月２日（水）

私たちの君津市も台風による災害に見舞われ、予想だにしない大きな被害をこうむりました。「災害は忘れたころにやって来る」ではなく、今では「常にやって来る」といえる状態です。私たち市民は、知恵を出し合い、協力し合って防災対策を講じる必要があるでしょう。

今回訪問した『そなエリア』とは、「そなえる＋エリア」の造語とのこと。「体験と学習を通じて“災害をイメージする力”と“対応力”を身につけることで、災害へのそなえに繋がる場所」を意味しているそうです。1階が防災体験ゾーン、2階が防災学習ゾーンで、周囲には避難所として利用する東京臨海広域防災公園が広がっています。

研修に参加した皆さん

説明をいただいた後、私たちは、地震発生後72時間の生存力をつける体験学習ツアーに参加。

音響・照明・映像による余震が続くジオラマの中を、タブレット端末でのクイズで注意事項を確認しつつ避難場所へ移動しました。学習ゾーンには、事例に学ぶ自助の知恵コーナー、自助・共助の必要性について学ぶ災害と暮らしのコーナーなど多彩な学習支援コーナーがありました。

また、船の科学館では、海と船の文化の展示を楽しみ、初代南極観測船として活躍した『宗谷』も見学。お天気にも恵まれ、実り多い研修となりました。

体験学習ツアー前の説明

南極観測船「宗谷」

船の科学館で展示に見入る

# 2020年に向けて　ユニバーサルマナーを考えませんか？

皆さんは、高齢者や障がい者・ベビーカー利用者・外国人など多様な方々を街で見かけることが多くなっていると思います。そして、そういう方々が困っている場面に出会ったことがありませんか？　そのとき勇気を出して「何かお手伝いできることはありますか?」と声を掛ける人がいれば、困っている方は助かることでしょう。

自分とは違う誰かの視点に立ち、考えて行動することは「心遣い」の一つです。多様な方々に向き合うための「心」と「行動」をユニバーサルマナーと言うそうです。例えば車いすを押してあげるという一つのサポートでも「かける言葉」「歩くスピード」など細かいことを工夫する心遣いで乗っている人も安心できるでしょう。多様な方々がさらに増える２０２０年に向けて、共にユニバーサルマナーを考えてみませんか？

## 私のボランティア　北子安　廣田善吉

今回ご紹介するボランティアの方は、中地区社会福祉協議会でも活躍してくださる方です。

大好きな「遊ぶこと」を生かしたボランティア活動や、ご近所さんを大事にした活動など、様々な活動を展開して人生を楽しんでいらっしゃいます。

君津中地区社会福祉協議会児童家庭事業部会のボランティアをしております。いろいろある事業の中で、「子育てサロン」のクリスマス会では、今年で4回目となるサンタクロースに扮します。子どもたちにお菓子や飲み物をあげることがとても楽しみです。子どもたちの成長も著しく、「アッ」という間で、子どもたちの成長を見ることも楽しいことです。「あいさつ運動」などで子どもたちと顔見知りになると、大きな声で先に挨拶をしてくれて気持ちが「パアー！」と明るくなります。

君津にはいい場所・行事がたくさんあります。子どもや大人たちを誘い、三舟山のホタルの夕べ、久留里新酒祭り、鹿野山はしご獅子舞、人見神社『神馬』、小糸川ハゼ釣り大会などに出かけています。どんどん仲間を作り、楽しくお付き合いの輪を広げております。

また、近所の人から頼まれて木や竹を切ったりします。その他、家具の移動のお手伝いや病院の送り迎えなど、できるときにはするよう心掛けています。八重原公民館ではカラオケをやっており、学芸フェスティバル大会で歌うことが楽しみです。10月の文化祭が中止となり残念ですが、今年やろうと企画した竹トンボ・竹ぽっくりは来年行います。楽しみにして下さいね。

## お知らせ

**子育てサロンのクリスマス会**

12月11日（水）
10:00～12:00

皆さんおいで下さいね

## 編集後記

15号19号と大きな台風が2回、特に1度目の15号は、近年まれに見る大きな災害をこの地に残し、去っていきました。2週間にも及ぶ停電や断水、比較的過ごしやすい房総半島の住民の私たちにとってはかなり厳しい試練を与えてくれました。

こんな時頼りになるのは、やっぱりご近所さん。お互いに声を掛け合い愚痴を言いながら何とか乗り切ったという話も伺うことができました。自助、共助、公助と言いますが日頃のおつきあいが大切だとつくづく感じた次第です。（Ｈ・Ｏ）